

1 開催実績

第1回 令和2年7月31日(金) ○ 現状と課題の分析

第2回 令和2年10月28日(水) ○ 専門家等のヒアリング報告を踏まえた意見交換

①外国人材の雇用等に関する専門家 ②専門学校 ③東京で働く外国人材

東京の中小企業振興を考える有識者会議(第2回)資料(令和2年11月4日開催)

2 主な意見とポイント

主な意見

(1) 外国人材との出会いの機会の創出

- ・ 特定技能外国人への関心・ニーズは高く、制度に関する情報提供を希望する声が多い
- ・ 合同企業説明会の拡充は有効

ポイント

中小企業に対し、外国人材採用に関する様々な情報を提供

(2) 中小企業における外国人材受入体制の構築

- ・ ダイバーシティマネジメントの考え方に立ち、外国人材とのコミュニケーションギャップについて中小企業に気づきを与えることが重要
- ・ 外国人材の採用・定着に関するノウハウを、中小企業に継続的に提供することが必要
- ・ 外国人がネイティブレベルの日本語を身に着けるのを待つのではなく、日本企業側が外国人材のスキルに応じた受入体制を整えていくことが必要

中小企業に対し、外国人材の採用・定着に関する継続的・体系的な支援を実施

(3) 外国人材が求める情報提供

- ・ 外国人求職者の大半はSNSなどを通じて就職に関する情報を取得
- ・ 日本の福利厚生や社会保障制度等を紹介することも必要

SNS等も活用し、日本・東京の中小企業で働くメリットや企業の魅力を発信

(4) 海外在住の外国人求職者に対するアピール

- ・ 日本で働く外国人材のキャリアパスも含めたロールモデルが重要
- ・ テレワークの活用など、東京における働き方のモデルを多言語の動画で世界に発信することが必要

東京でいきいきと働く外国人の姿を、ロールモデルとして動画等を世界に発信